



巻頭言

## あくまでも環境にやさしく

常務取締役 菊地 彬

地球が誕生して約46億年、ホモサピエンスが地上に現れて約20万年、その流れの中で我々が今生活している時間は一瞬のまばたきの時間ほどであろうか！一方、現代人の生活が今環境に与えている影響は、過去数万年の変化を越える巨大なインパクトになろうとしている。

同時に、地球規模、宇宙規模でその影響を測り、評価を可能にしつつある現代技術の進歩と英知に驚かされる。

しかし、ここ数年の身近に起きている平均気温の急激な上昇、多くの強力な台風の襲来、局地的な集中豪雨、捕獲される魚種の変化、杉花粉の増加、連続真夏日数の更新等々の現象はその結果と認識せざるを得ないのであろう。また、人類の精神面にも影をさしはじめているのかもしれないと個人的には感じている。

米国のCOP3の批准拒否など、まだまだ全世界一元化されていないが、少なくともわが国もいよいよ2005年から国を上げてその対応に向かおうとしている。

その動きの中で日新電機は企業集団として、物づくり集団として「コンパクト化の日新」をコンセプトに総合的な製品のライフサイクルアセスメント評価をベースに、環境にやさしい製品群を社会に提供し、その責を果たすことを目指している。本報告でその成果の一部をご報告申しあげ、お客様と共に環境を考える「和」が広がって行くことを希望している。

また、これからの日新電機を窺わせる新技術分野カーボンナノチューブ、排水処理、薄膜コーティングの研究開発についてご報告し、皆様方のご批評を仰ぎつつ、今後とも変わらぬご愛顧をお願いする次第である。